

英語科学習指導案

実施日 平成 23 年 1 月 17 日 (月)
実施クラス 1 年 2 組
授業者 宮野 清夏

- 1 指導単元 New Horizon 1 Unit9 クリスマスがやってきた
- 2 単元設定の理由
本単元の言語材料としては、be 動詞 + 動詞 ing ~ 現在進行形の肯定文・質問文、Don't ~ . 否定命令文、Be ~ . Be で始まる命令文の 3 つがあり、これらの形・用法・意味を学習させる。また内容としては、カナダとオーストラリア (南半球) のクリスマスの様子を知る単元となっており、本単元を通して日本と外国の気候や文化・習慣の違いを知る。
- 3 単元の指導目標 (学習指導要領 (現行) (3) - エ)
 - (1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度
 - ・本文の内容についての質問に対して積極的に英語で答え、コミュニケーションを図ろうとする。
 - ・ペアワークやグループワークに意欲的に参加し取り組む。
 - (2) 表現の能力
 - ・現在進行形の形・用法・意味を理解し、英語で文章を書いたり、相手に質問したり答えたりできる。
 - ・否定命令文の形・用法・意味を理解し、「~してはいけない。」という指示を英語で言ったり書いたりできる。
 - ・Be で始まる命令文の形・用法・意味を理解し、「~しなさい。」という指示を英語で言ったり書いたりできる。
 - (3) 理解の能力
 - ・Unit 9 の内容について、CD を聞いたり教科書の英文を読んだりして理解できる。
 - ・現在進行形、否定命令文、Be で始まる命令文を含む英文を、聞いたり読んだりして理解できる。
 - (4) 言語や文化についての知識・理解
 - ・現在進行形、否定命令文、Be で始まる命令文の文法を理解する。
 - ・日本と外国の気候、文化・習慣の違いについて理解を深める。
- 4 単元の指導計画 (6 時間扱い)

1 時間目 : 現在進行形 (肯定文) の導入	4 時間目 : Unit9-2 本文の内容理解
2 時間目 : Unit9-1 本文の内容理解 (本時)	5 時間目 : 否定命令文、Be で始まる命令文の導入
3 時間目 : 現在進行形 (質問文) の導入	6 時間目 : Unit9-3 本文の内容理解
- 5 単元の評価
 - (1) B 評価
 - ・教師や C D の英語を、理解できないところがあっても推測しながら聞き続け、わかったことを発表する。
 - ・教科書の英文を読んで、書かれていることの内容を理解できる。
 - ・新しく学習した文法事項を用いて、英語で文章を書くことができる。
 - ・ペアワークに積極的に取り組むことができる。
 - (2) 支援を必要とする生徒 (C 評価) への手立て
 - ・イラストや写真を見て場面を想像させ、理解の助けとさせる。
 - ・わかったことは日本語でもよいので発表するように促す。
 - ・机間指導で声をかけ、支援する。
- 6 授業改善のポイント
 - (1) 研究主題との関わり
 - ・ペアリーディング、インタビュー、スキットの作成・発表などのペア活動を多く取り入れ、生徒同士で互いに教え合いや学び合いの活動を多く取り入れている。
 - (2) 授業評価の結果分析をふまえて
 - ・「英語で自己表現をしたり、意見交換をする場面があったか。」という項目については、あまりよくない結果であったが、授業評価が行われたのが 7 月上旬であり、英語で自己表現をさせる場面が少なかったためと思われる。そのため、7 月以降、自己紹介文、家族・友人紹介文、ハンバーガーショップのスキット発表など、英語での自己表現活動を取り入れた。
 - ・「発言したり質問したりしたか。」の項目についてもあまりよい結果ではなかったが、1 月現在、7 月よりも発言が減っていると感じている。今後、生徒の精神的な成長に伴い、さらに挙手が減っていくことが考えられる。全員が必ず手を挙げられるような発問を工夫し、一度も挙手をせずに授業が終わることのないようにしている。
 - (3) 学力調査の結果分析をふまえて
 - ・1 月 17 日 (本日) 実施のため、結果が出次第、分析改善を行う。
 - (4) 「言語活動の充実」の観点から
 - ・音読をする際、自分が登場人物の気持ちになって感情を込めて読み、言葉を自分のものとして体得できるよう指導している。
 - ・英語を英語のまま理解し、表現できる実践的な運用能力を養うため、英文の概要や要点を掴むことに重点を置いた指導をしている。
 - ・ペア活動では、自分の考えが相手に正しく伝わるように大きな声ではっきりと積極的に伝えることと、相手の考えを積極的に聞こうとする態度も指導している。
- 7 本時の授業
 - (1) 本時のねらい
 - コミュニケーションへの関心・意欲・態度
 - ・教師からの発問に対して、積極的に自分の考えを述べる。
 - ・ペアワーク (音読) で、分かりやすく相手に伝えたり、相手の言っていることに耳を傾けたりする。
 - 表現の能力
 - ・現在進行形を用いた文章を文字にして表せる。
 - ・ナレーションの雰囲気を出して音読ができる。
 - 理解の能力
 - ・現在進行形の形や、それを含む文章を聞いたり読んだりして理解できる。
 - 言語・文化についての知識・理解
 - ・主語の人称によって現在進行形の be 動詞が異なることを理解する。

(2) 本時の展開

	学習内容	教師の働きかけ	予想される生徒の反応	指導上の留意点(評価)
導入 20分	挨拶	英語で挨拶をする。 Good morning, class. How are you? 天気、曜日を確認する。 How's the weather? What day is it today?	英語で挨拶をする。 I'm fine, thank you. And you? 教師の質問に答える。 It's sunny. It's Monday.	全員が姿勢を正し、教師と目をあわせた状態を確認してから挨拶をする。(意欲) 教師の質問に元気に答えられる。(意欲)
	ビンゴ	単語を読み上げ、ビンゴの順位を言う。	教師の読み上げた単語をチェックし、ビンゴになったら挙手をする。	ビンゴになった時は大きな声で「ビンゴ!」と言わせる。(意欲)
	歌 (Singin' in the rain)	C Dを流し一緒に歌う。	曲に合わせて歌ったり、歌詞の文字を目で追ったりする。	初めて歌うので、歌詞を目で追うだけでもよい。(関心)
	前時の復習	キーワードの書かれたカードを用いて、be 動詞 + 動詞 ing の形を思い出させる。 ピクチャーカードを提示し、現在進行形の文章を口頭作文させ、練習させる。 ワークシートに で練習をした文章を書く。(ワークシートを回収し、チェックをして次回返却する。)	現在進行形の形を思い出しながらキーワードを挙げる。 前回の内容を思い出し、写真を説明する文章を、現在進行形を使って言う。 be 動詞や動詞 ing の形に注意しながらワークシートに英文で書く。	現在進行形 be 動詞 + 動詞 ing の形を理解しているか。(理解) 写真について現在進行形を用いて表現することができたか。(理解、表現) 口頭練習をした文章を文字で正しく表現できたか。(表現、知識)
展開 25分	教科書本文 (1)オラルイントロダクション	オラルイントロダクションを行う。過去に学習してきた内容と絡めて英語で質問をする。	オラルイントロダクションの内容を、推測しながら聞いたり、質問に答えたりする。	教師の英語に耳を傾け、積極的に答えてようとしているか。(関心、意欲)
	(2)教科書本文の聞き取り理解	ピクチャーカードを見せ、聞き取りのポイントを与える。教科書本文のC Dを流して内容の聞き取り理解をさせる。	ピクチャーカードを見ながらC Dを聞いて、本文の内容理解をする。聞き取りポイントの答えを言う。	現在進行形を含む文章を正しく聞き取り、答えられたか。(理解、意欲)
	(3)教科書本文の確認	教科書を開かせ、本文内容の確認をする。重要な表現に線を引かせる。	教科書本文を見ながら内容の確認をする。	聞き取った内容が正しいか文字で確認できたか。(理解)
	(4)新出単語の練習	単語カードを用いて、新しい単語の発音練習と日本語の意味確認を行う。	教師の後ろについて大きな声で発音をし、日本語での意味を言う。	大きな声で、正しく発音し、意味を言えているか。(意欲、知識)
	(5)教科書本文の音読	絵の内容のナレーションをする気持ちで音読をさせる。 Choral / Individual / Buzz / Pair / Read and look up	ナレーションの雰囲気ができるように工夫をし、ペアとのコミュニケーションを図りながら音読をする。	読むスピードや声の大きさに気を付けながら、正確に読み、ペアとコミュニケーションを図っているか。(表現、態度)
まとめ 5分	宿題配布	宿題を配布する。	新出単語の意味を記入する。	単語の意味を記入したか。(意欲)
	自己チェックカード 挨拶	カードの回収をする。 Goodbye, class.	カードに本時の反省を記入する。 Goodbye, Ms. Miyano.	姿勢を正し、元気に挨拶ができたか。(意欲)

8 本時の板書計画

今日のポイント				
現在進行形 ・ ・ ・ be 動詞 + 動詞 ing ~ now (am, is, are)				
You are playing soccer now.				
ピクチャー カード	ピクチャー カード	ピクチャー カード	ピクチャー カード	ピクチャー カード

9 授業を終えて

- ・ 発問を多くすることで、挙手も多く、活発な授業となった。
- ・ Oral Reading に時間をかけすぎ、授業進行がスピーディーでなくなる場面があった。Individual Reading において、39人全員に読ませるのではなく、人数を減らして当てる生徒を毎回変えるなどの工夫をする。
- ・ 今回は教科書本文の理解が中心であったため、communicative な活動がなかった。今後、Q&A, Chat などのcommunicative な活動を単活動の一つに取り入れていくことが必要である。